

# WHO ファクトシート

## 認知症

Dementia

2017年12月

### 重要な事実

- ・認知症とは、記憶、思考、行動及び日常生活の活動能力に低下がある症候群である。
- ・認知症は、主に高齢者に現れるが、正常な老化の一部ということではない。
- ・世界では5000万人の認知症患者がおり、毎年1000万人が新たに認知症を発症している。
- ・アルツハイマー病は、認知症の主原因であり、全体の60～70%を占める。
- ・認知症は、世界中の高齢者にとって、障害と要介護を引き起こす主な原因のひとつである。
- ・認知症は、認知症患者自身だけでなく、介護者、家族そして大きくは社会に対して、身体的、心理的、経済的な影響を及ぼしている。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Dementia                      ファクトシート原文は [こちら](#)